

# 2010年3月期 決算説明会

株式会社ヒップ  
2010年 5月20日

## 2010年3月期 決算ハイライト(計画対比)

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (修正計画)※		2010年3月期 (実績)		計画対比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	3,136	100.0	3,274	100.0	+137	+4.4
営業利益	△883	—	△627	—	+256	—
経常利益	△367	—	△154	—	+213	—
当期純利益	△251	—	△125	—	+125	—

※2009年10月27日発表の2010年3月期業績予想数字

計画対比

- ◆売上高 ……稼働人員の増加、稼働工数の増加等、複数の要因により、計画比137百万円増。
- ◆営業利益 ……売上高の増加が主要因。その他、役員を始めとする人件費の圧縮が寄与し、計画比256百万円増。
- ◆経常利益 ……稼働率上昇により雇用助成金収入は減少するものの、営業利益の改善が大きく、計画比213百万円増。

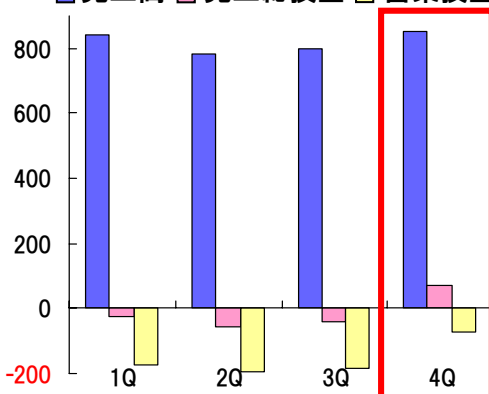
(単位:百万円、%)	2009年3月期		2010年3月期		増減額	増減率	増減要因
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	5,242	100.0	3,274	100.0	△1,968	△37.5	・稼働率減少が主要因 ・稼働時間の減少
売上原価	4,305	82.1	3,327	101.6	△978	△22.7	
売上総利益	937	17.9	△53	—	△990	—	
販管費	729	13.9	574	17.5	△155	△21.3	・人件費/家賃地代/採用費などの圧縮
営業利益	207	4.0	△627	—	△835	—	
経常利益	203	3.9	△154	—	△358	—	・営業外収益に雇用調整助成金(487百万円)を計上
当期純利益	106	2.0	△125	—	△231	—	

- ◆売上高 …メーカーの開発費用見直し、削減による稼働率・稼働時間の減少が主要因となり減収。
- ◆販管費 …役員報酬減額等の人件費、家賃地代、採用費等を圧縮し、前年比155百万円減。
- ◆経常利益…政府の緊急雇用対策である雇用助成金を受給し、営業外収益に487百万円計上したことにより、損失が縮小。

## < 2010年3月期 >

(百万円、%)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	841	100.0	782	100.0	797	100.0	852	100.0
売上原価	868	103.2	837	107.0	840	105.4	781	91.7
売上総利益	△26	—	△54	—	△43	—	71	8.3
販管費	149	17.7	141	18.0	142	17.8	141	16.6
営業損益	△176	—	△195	—	△185	—	△70	—

■売上高 ■売上総損益 ■営業損益

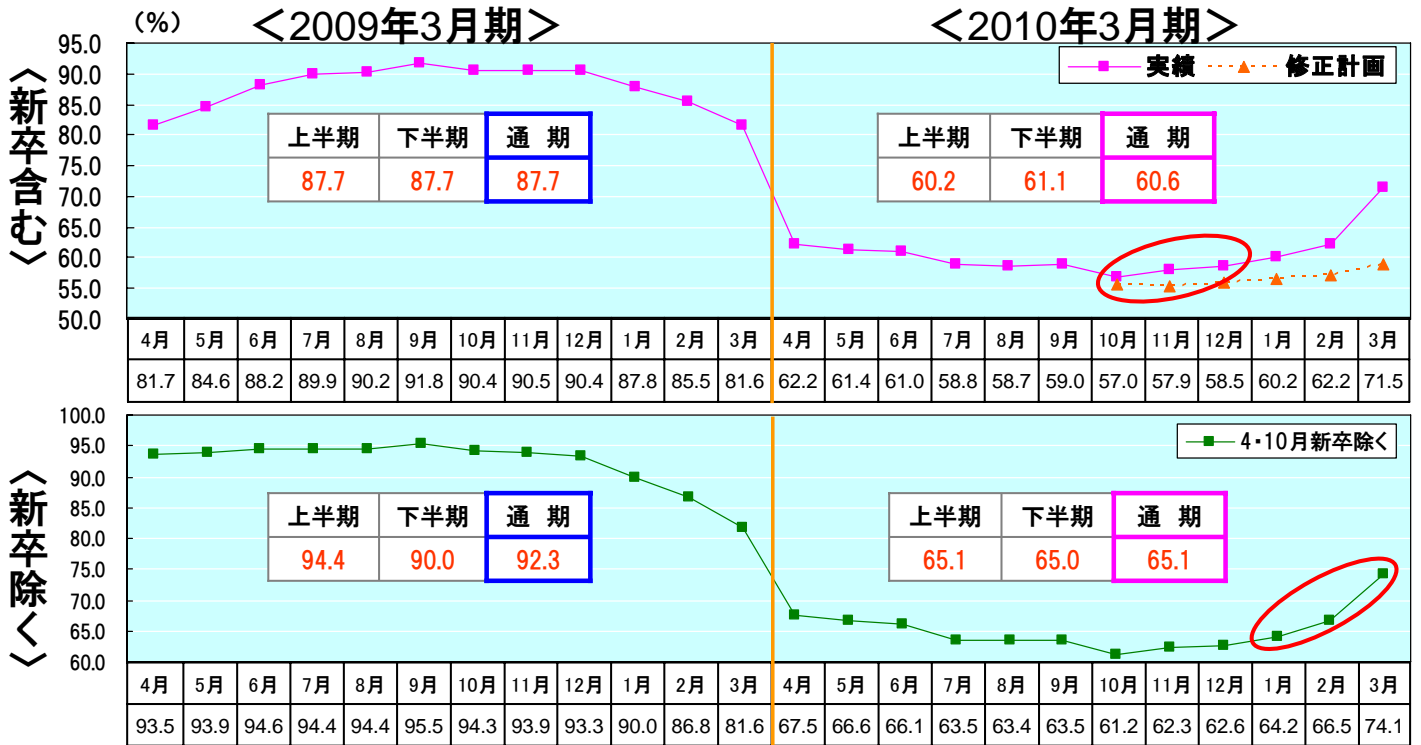


◆第1四半期、第2四半期の稼働率悪化から、減収減益傾向にあったものの、第3四半期後半から売上高、利益共に改善へと転じてきている。

◆特に第4四半期では賞与引当金の減額を含めても改善が見られ、売上総利益がプラスとなった。

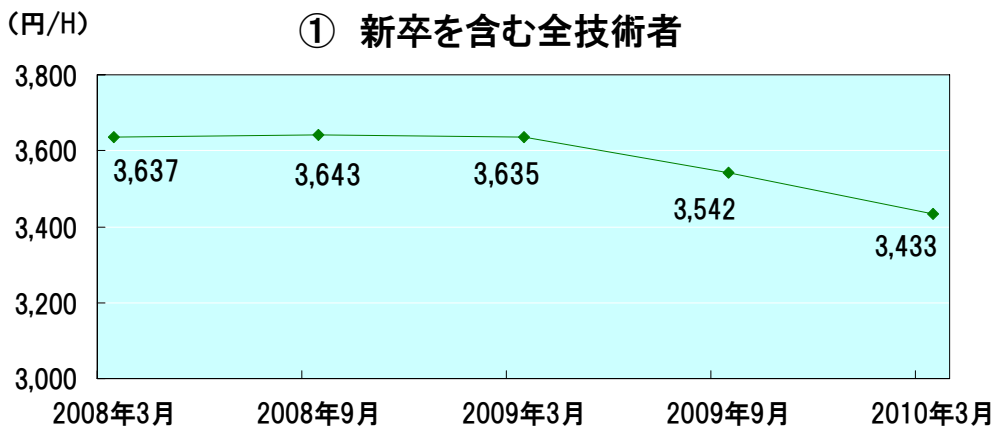
# 主要指標① 稼働率推移 (87.7%→60.6%)

上半期の経済環境を加味し第2四半期で修正したが、受注の改善から徐々に計画を上回った。



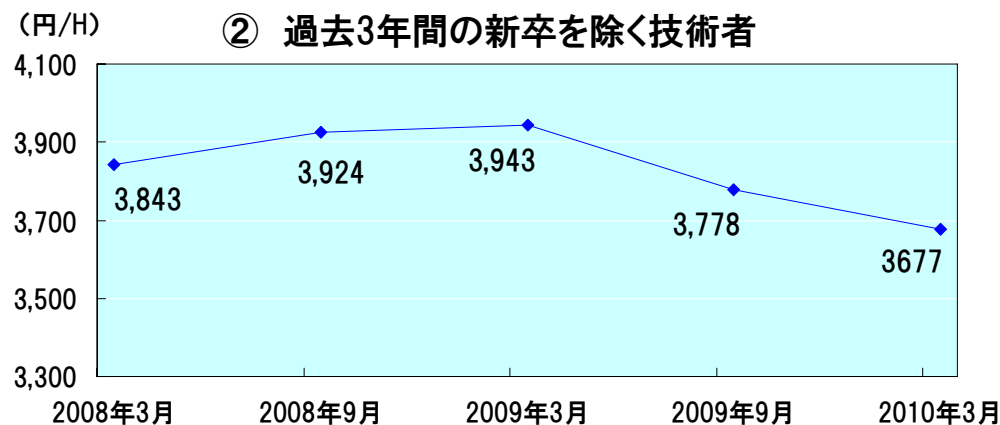
5

# 主要指標② 技術料金推移(3,635円/h→3,433円/h)



**今期の動向**

- 多くの顧客で収益悪化からのコスト圧縮要請が発生。
- 業務継続、開始を優先し、柔軟な対応を実施。

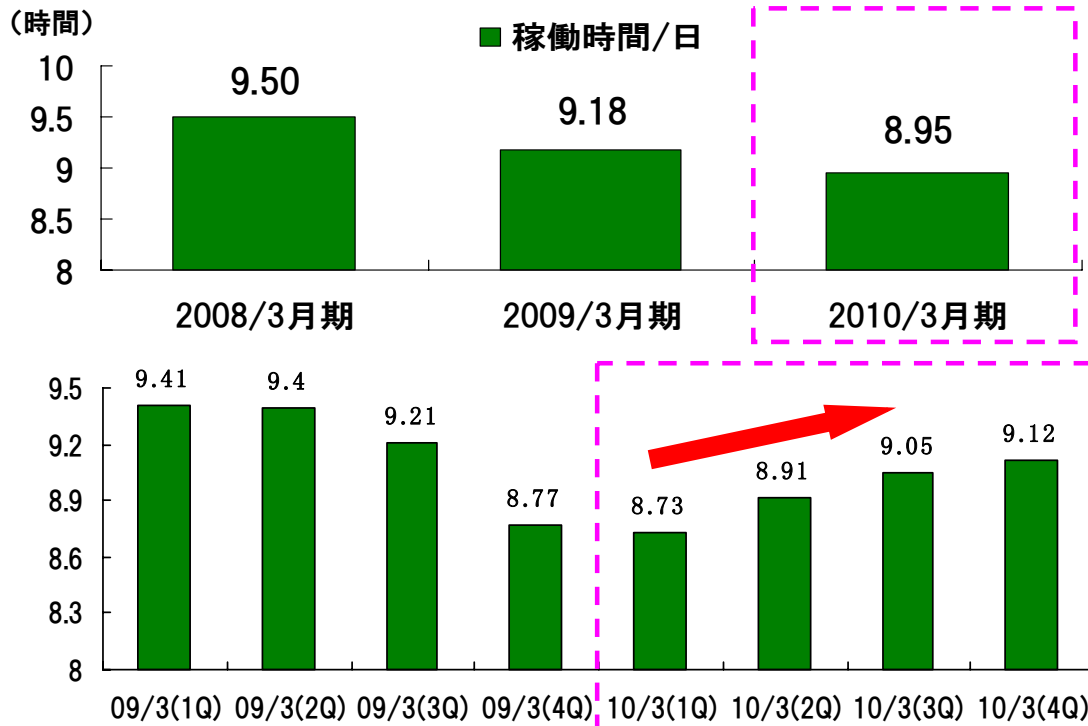


**今後の動向**

顧客のコストに対する厳しさは今もなお見られ、当面は前期同様に柔軟に対応し、稼働率UPを図る。

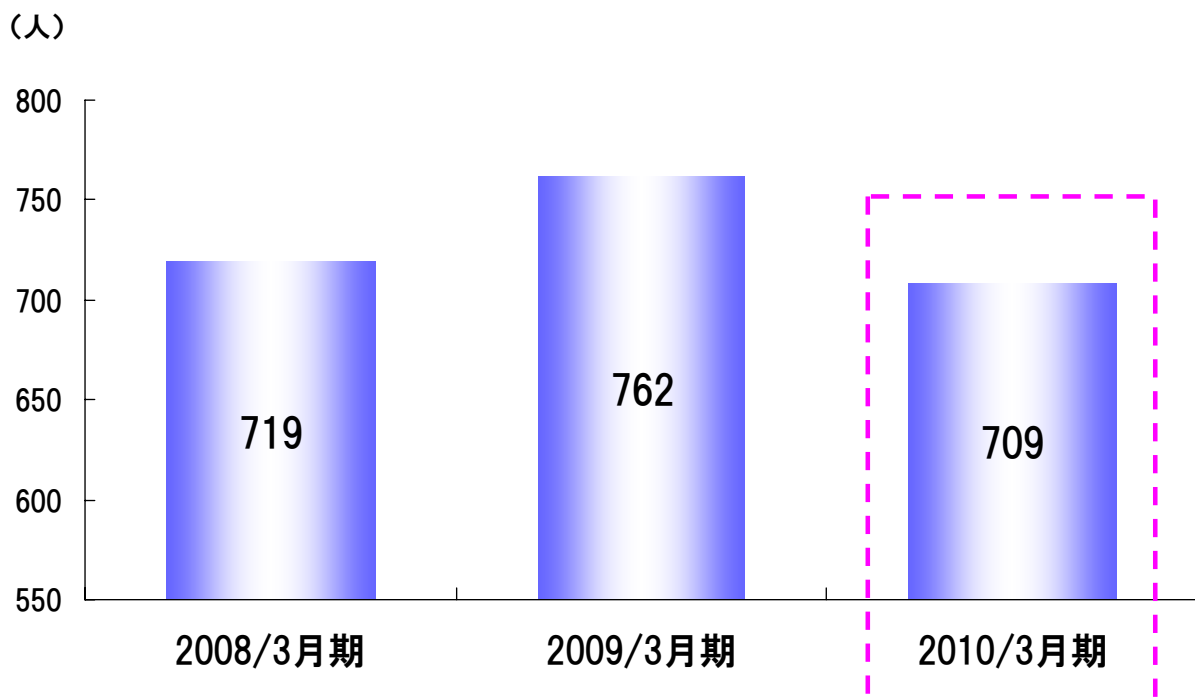
## 主要指標③ 稼働時間推移(9.18h/人・日→8.95h/人・日)

前期下半期からの顧客の収益悪化を背景に減少傾向にあった稼働時間は、第1四半期を底に徐々に回復し、第3四半期より9時間を超える稼働時間となった。



## 主要指標④ 技術者数推移 (762人→709人)

顧客の業績悪化に伴う業務終了、受注の減少から待機技術者が増加。待機技術者の雇用維持・早期戦力化を優先的に考え、昨年度第3四半期から新卒・中途採用を抑制し、前期末より53人減。



# 事業分野別売上高(前年同期比)

半導体関連の悪化から、半導体回路関連、機械関連(半導体製造装置など)で大きく減少。  
構成比は全体的な低調により、機械関連以外はほぼ前年同様。

(単位:百万円、%)	2009年3月期			2010年3月期				取引先状況
	売上高	構成比	社数	売上高	構成比	伸び率	社数	
輸送用機器関連	1,920	36.7	52	1,206	36.8	△37.2	43	上半期での業務終了が大きくみられたが、下げ止まりもみられ、下半期からは徐々に回復傾向となった。
電気電子機器・半導体回路関連	1,306	24.9	44	811	24.8	△37.9	32	電池・家電関連より受注が堅調に推移。半導体回路関連では苦戦を強いられたが、下半期には受注回復が見られた。
情報通信・精密機器関連	1,220	23.3	41	805	24.6	△34.0	38	ディスプレイ、プリンタなどでの契約終了や、医療機器関連の低調などがあり、厳しい状況で推移。
機械関連	482	9.2	36	211	6.5	△56.1	26	半導体製造装置関連の落ち込みが大きかったが、下半期からは回復傾向がみられた。
情報処理・ソフトウェア関連	311	5.9	32	238	7.3	△23.5	23	制御系、通信系での経験者ニーズは底堅いものの、全体的には低調に推移。
合計	5,242	100		3,274	100			
取引社数	194社 275事業所		153社 218事業所					

9

# 主要取引先(上位10社)

(単位:百万円、%)

順位	2009年/3月期			2010年/3期		
	取引先名	取引高	比率	取引先名	取引高	比率
1	デンソーテクノ	419	8.0	デンソーテクノ	273	8.4
2	パナソニック	253	4.8	三洋電機	178	5.5
3	トヨタテクニカルディベロップメント	207	3.9	パナソニック	162	5.0
4	ソニー	181	3.5	トヨタテクニカルディベロップメント	130	4.0
5	三洋電機	163	3.1	ソニー	125	3.8
6	ブラザー工業	149	2.9	ブラザー工業	107	3.3
7	日産車体	147	2.8	三菱電機エンジニアリング	101	3.1
8	オムロン	128	2.5	オムロン	74	2.3
9	ルネサスデザイン	123	2.4	ルネサスデザイン	71	2.2
10	三菱電機エンジニアリング	121	2.3	京セラミタ	67	2.1
	上位10社合計	1,891	36.2	上位10社合計	1,288	39.3
	その他合計	3,351	63.8	その他合計	1,986	60.7
	合計	5,242	100.0	合計	3,274	100.0

輸送用機器関連

情報通信・精密機器関連

※敬称略

電気電子機器・半導体回路関連

10

# 2011年3月期 業績予想

## 外部環境

### 経済環境

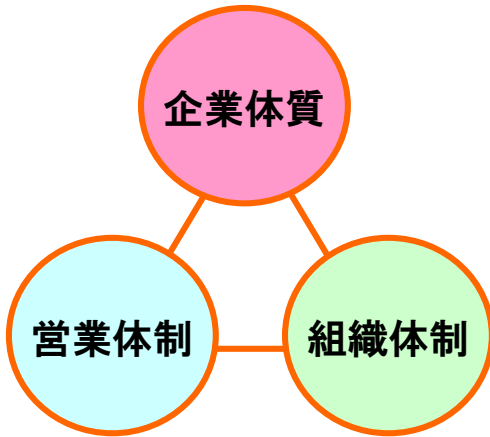
- ・一昨年から続いた景気低迷も歯止めがかかり、持ち直しの動きへ転じてきている。

### 顧客状況

- ・コスト削減などの施策により、収益は改善傾向にある。
- ・輸出の増加や、景気持ち直しから増産傾向にある。
- ・業績改善へ向け、設計開発投資への節減を緩めてきている。

### 業界として

- ・法改正への動きの中で、一般労働者派遣に対する規制強化の動きもあるが、特定労働者派遣である当社には影響なし。
- ・受注は回復傾向にあるものの、顧客企業の状況に格差が見られ、急激な回復には至っていない。
- ・技術力、コストパフォーマンスなど、顧客の要求レベルは高まっている。



開発・設計のプロ集団として業界の長期安定と、社員の永続的成長を図り、技術を通じ社会に貢献する。

## 企業体質

- ◆収益基盤の強化
  - ・安定的な収益の確保が出来る企業体質を構築

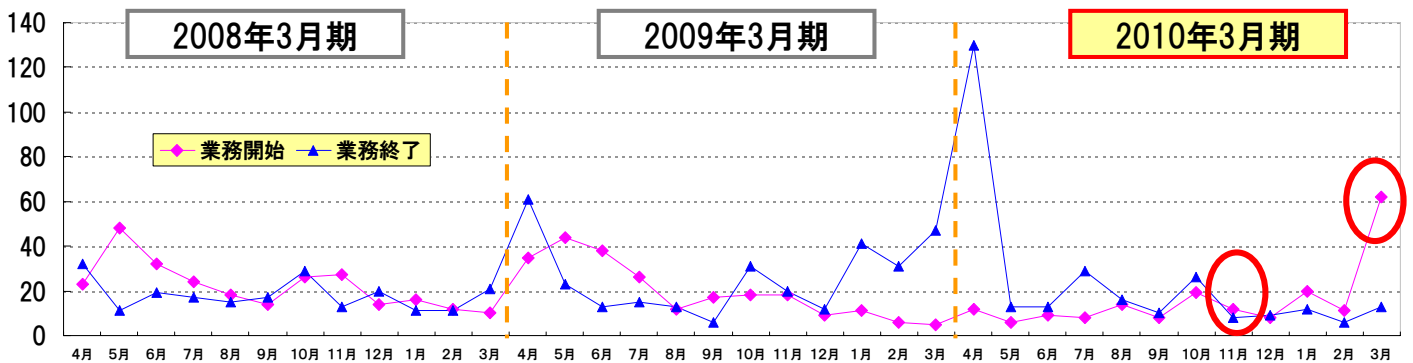
## 組織体制

- ◆本社部門の多機能化による営業所支援
- ◆雇用の確保と教育の充実
- ◆コーポレートガバナンス体制の強化

## 営業体制

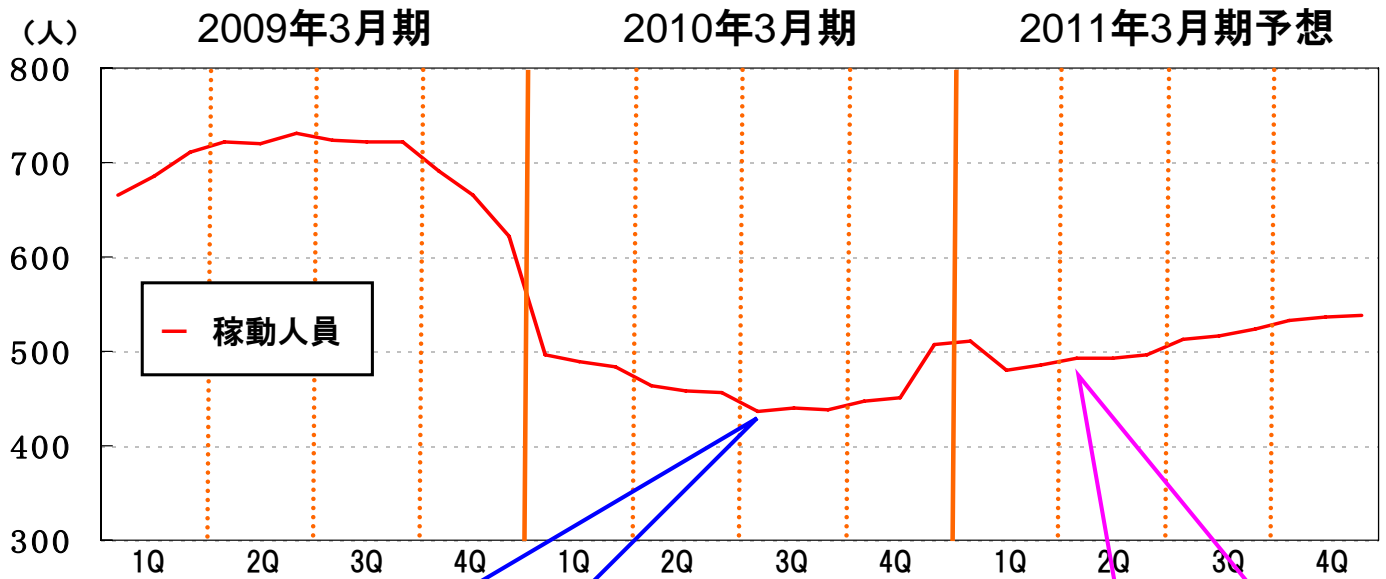
- ◆顧客拡充のための営業強化
  - ・営業力及びマーケティング機能の更なる強化
  - ・関東を中心とした顧客数の拡大
  - ・若手技術者の業務掘り起こし

- ◆業務終了数は4月の大規模な契約終了後はほぼ例年並みに推移。
- ◆顧客状況も第3四半期より改善がみられ、11月には業務開始数が上回り3月には大幅上昇。



(単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期	
業務開始	08/3	23	48	32	24	18	14	159	26	27	14	16	12	10	105	264
	09/3	35	44	38	26	12	17	172	18	18	9	11	6	5	67	239
	10/3	12	6	9	8	14	8	57	19	12	8	20	11	62	132	189
業務終了	08/3	32	11	19	17	15	17	111	29	13	20	11	11	21	105	216
	09/3	61	23	13	15	13	6	131	31	20	12	41	31	47	182	313
	10/3	130	13	13	29	16	10	211	26	8	9	12	6	13	74	285

# 業務開始想定イメージ



第3四半期には業務開始が終了を上回り、稼働率上昇に転じた。

受注状況は徐々に増加傾向にあり、緩やかに稼働人員は上昇すると予想。

## 主要指標対前年度比較(予想)

2010年3月期下半期の状況を加味し、稼働率・稼働時間は改善。  
技術料金は顧客のコスト削減状況を加味し低下。  
技術者数は採用抑制の影響から減少。

	2010年3月期	2011年3月期予想	前年同期比
稼働率	60.6%	81.4%	+20.8p
技術料金	3,433円/H	3,342円/H	△91円/H
稼働時間	8.95H/人・日	9.01H/人・日	+0.06H/人・日
期末技術者数	709人	606人	△103人



# 2011年3月期 業績予想

顧客からのニーズも回復傾向にあり、緩やかに稼働率は改善してくると予想。  
また経費節減の継続実施、人件費圧縮により最終利益を確保。

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (実績)		2011年3月期 通期予想		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比増減率
売上高	3,274	100.0%	3,452	100.0%	+5.4%
営業利益	△627	—	△91	—	—
経常利益	△154	—	137	4.0%	—
当期純利益	△125	—	78	2.3%	—

※2011年3月期では雇用調整助成金の受給により、  
235百万を営業外収益に見込んでおります。

# 2011年3月期 業績予想(上半期・下半期)

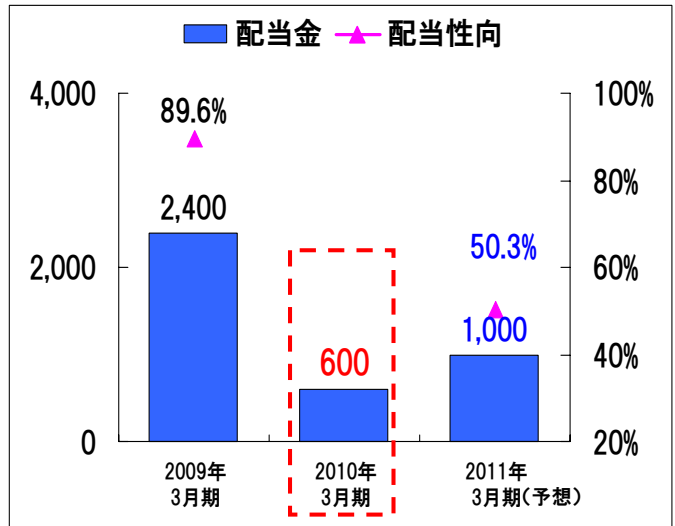
上期では期初での業務終了により前期下期からほぼ横這いの見込みだが、  
下期では稼働率の上昇とともに、営業利益確保を目指す。

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (上期予想)		2011年3月期 (下期予想)		2011年3月期 (通期予想)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,636	100.0	1,815	100.0	3,452	100.0
営業利益	△114	—	23	1.3	△91	—
経常利益	33	2.0	103	5.7	137	4.0
当期純利益	19	1.2	59	3.3	78	2.3

# 配当性向について

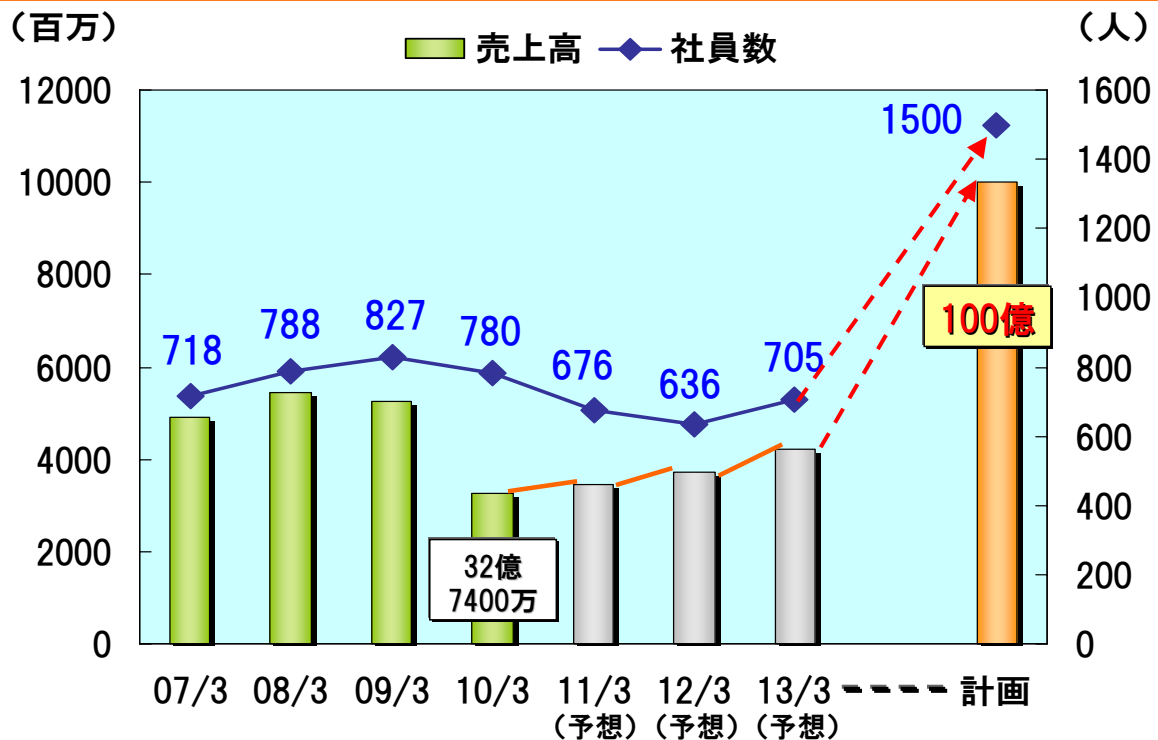
当社は堅実な経営を進めていくと共に、適正な利益還元を実施すべく、株主の皆様へ業績を勘案し安定した配当を継続していきます。

(単位:円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期 (予想)
配当金	2,400	600	1,000
配当性向	89.6%	—	50.3%



# 中期ビジョン

■ 堅実な経営を進めることで着実に成長し、  
売上高100億円・技術者1500名体制の実現を目指す。



## 本資料に関するお問合わせ先

株式会社ヒップ

IR担当

〒220-0003 横浜市西区楠町8-8

TEL: 045-328-1000

FAX: 045-328-1001

E-mail: [ir@hip-pro.co.jp](mailto:ir@hip-pro.co.jp)URL: <http://www.hip-pro.co.jp>

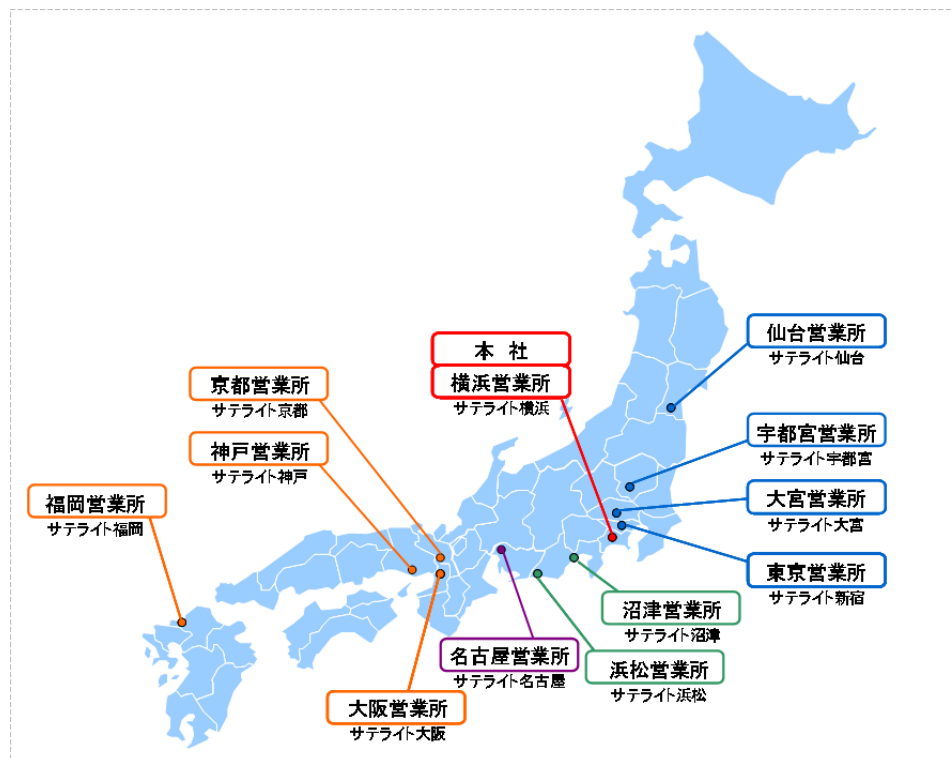
## 本資料について

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2010年5月20日現在のデータ等に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

- 設立 : 平成7年9月13日
- 代表者 : 代表取締役社長 田中吉武
- 事業内容 : 特定労働者派遣業  
機械設計、電子設計、ソフト開発の  
技術サービスを提供するアウトソーシング事業  
(技術者派遣、業務請負)
- 事業所 : 本社(横浜)、全国合計13拠点
- 資本金 : 3億7,752万5,000円
- 売上高 : 32億7,400万円(2010年3月期)
- 経常損益 : △1億5,400万円(2010年3月期)
- 従業員数 : 780人(2010年3月31日現在)

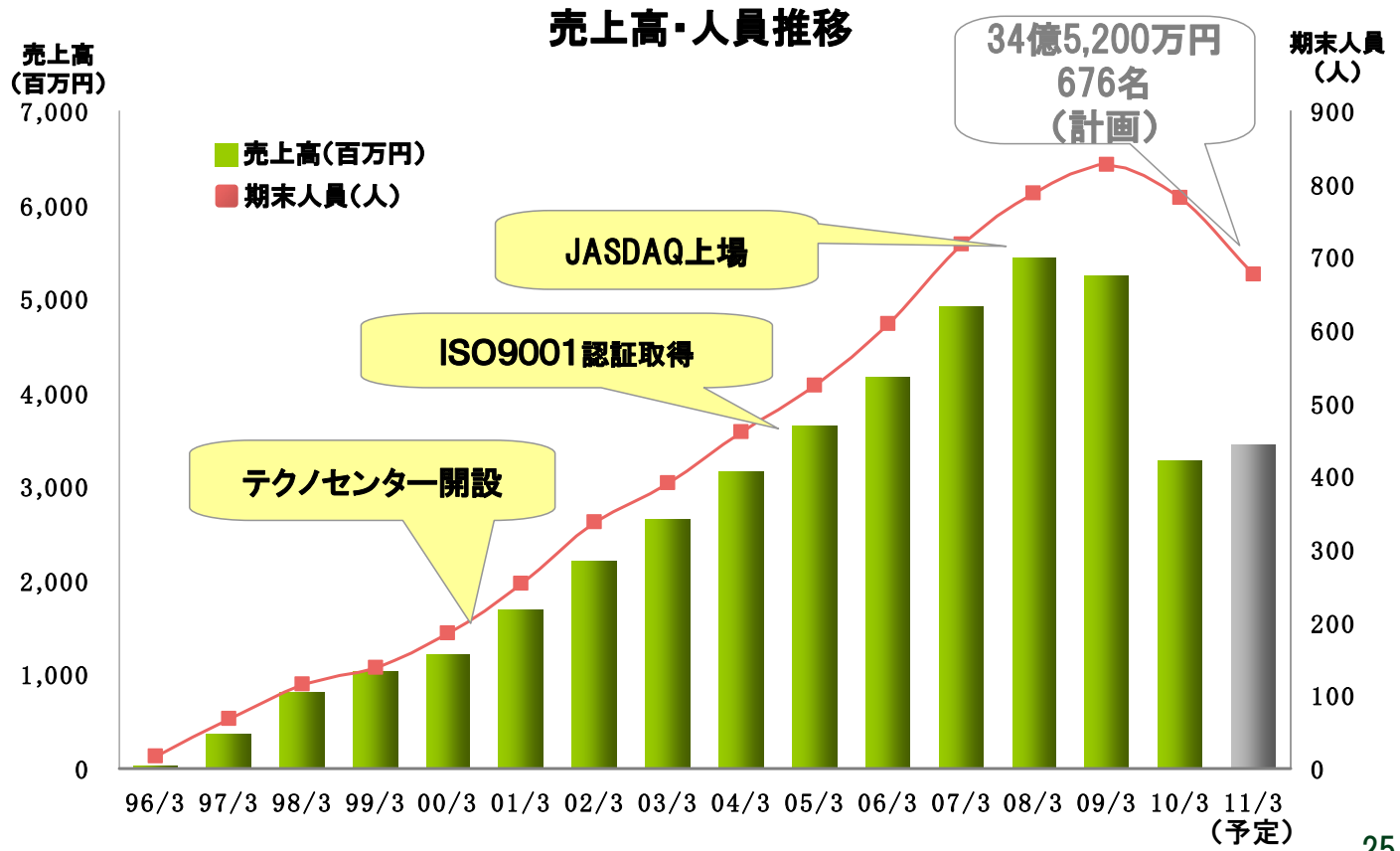
\*すべて単体、当社は連結財務諸表を作成しておりません。

## 全国に展開する営業・採用拠点(13拠点)

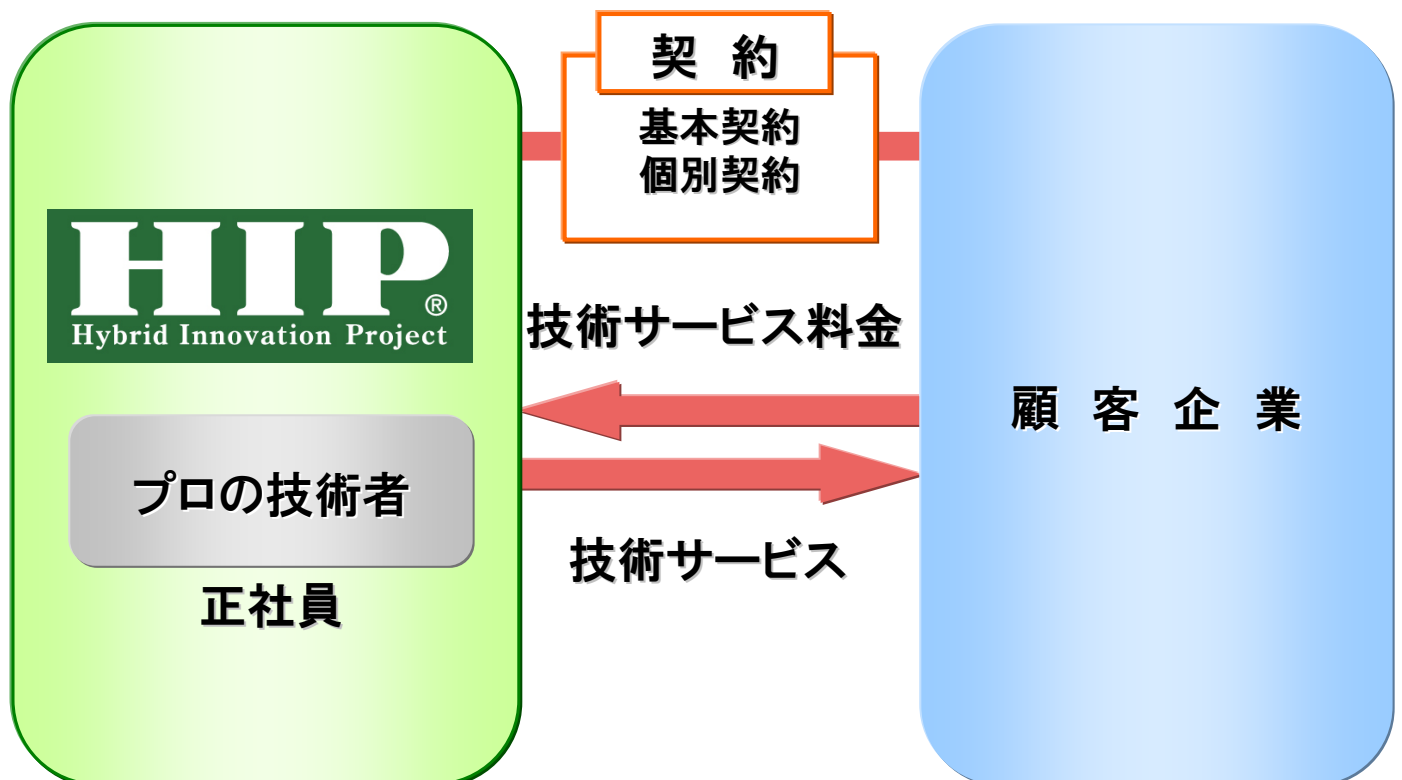


事業所	サテライト拠点
本社	サテライト横浜
神奈川事業部	
東部事業部	
仙台営業所	サテライト仙台
宇都宮営業所	サテライト宇都宮
大宮営業所	サテライト大宮
東京営業所	サテライト新宿
静岡事業部	
沼津営業所	サテライト沼津
浜松営業所	サテライト浜松
中部事業部	
名古屋営業所	サテライト名古屋
西部事業部	
京都営業所	サテライト京都
大阪営業所	サテライト大阪
神戸営業所	サテライト神戸
福岡営業所	サテライト福岡

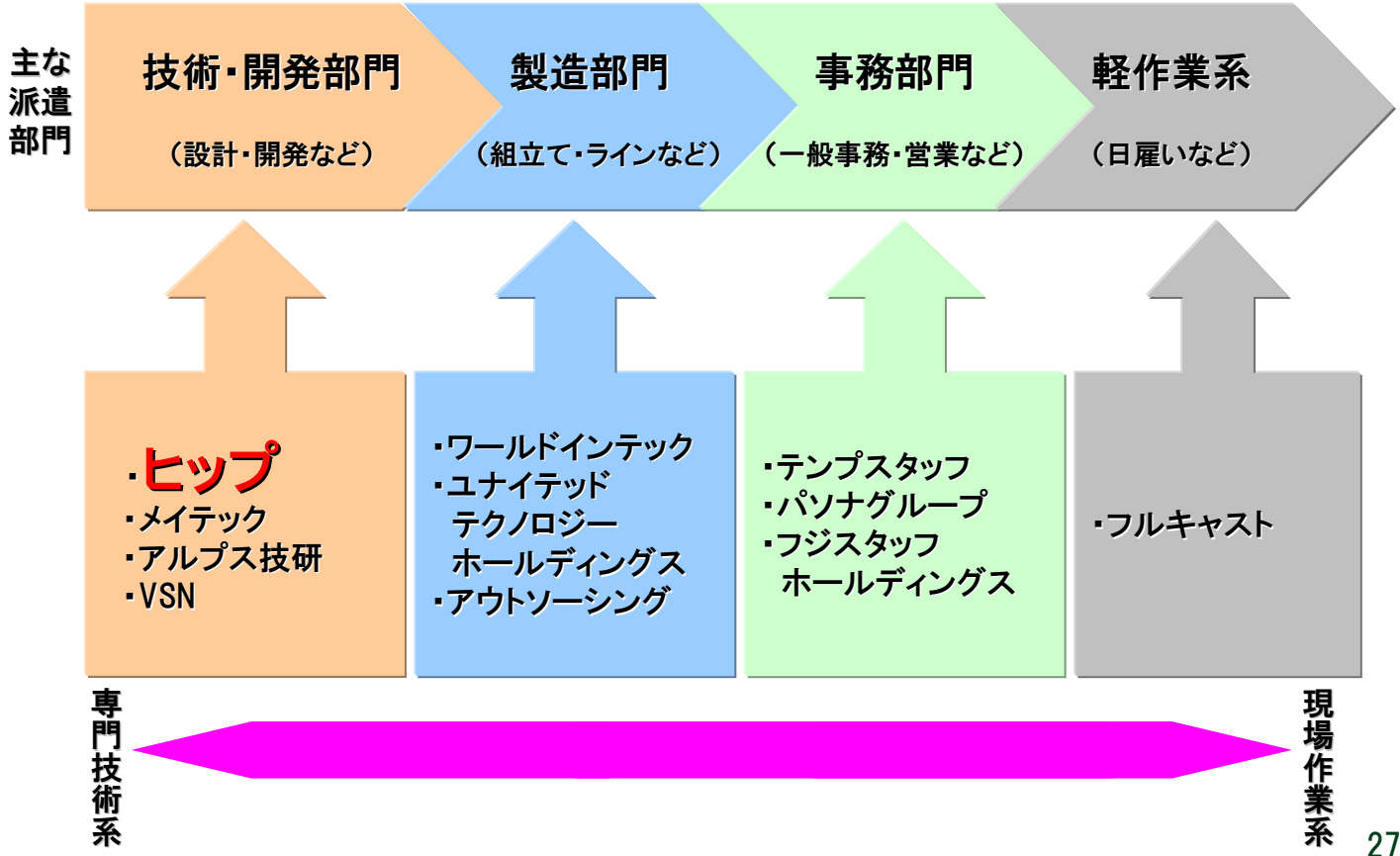
# 参考資料: ③沿革



# 参考資料: ④ビジネスモデル

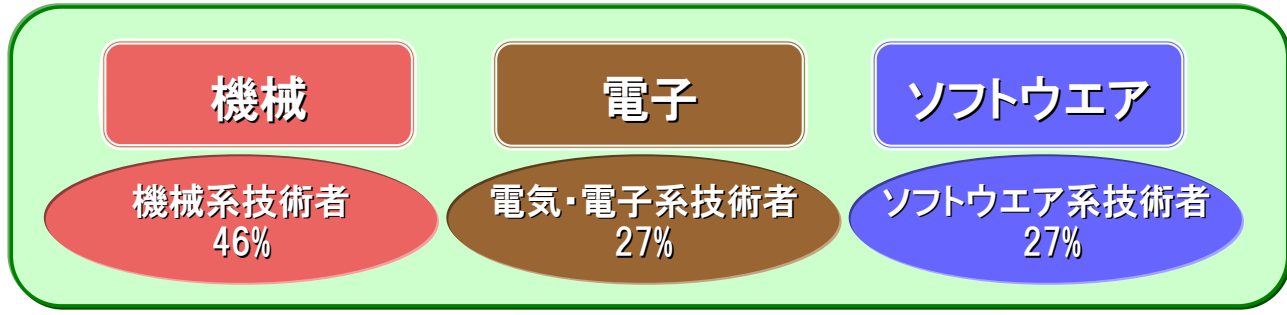


## 参考資料：⑤人材ビジネス各分野の主な上場企業

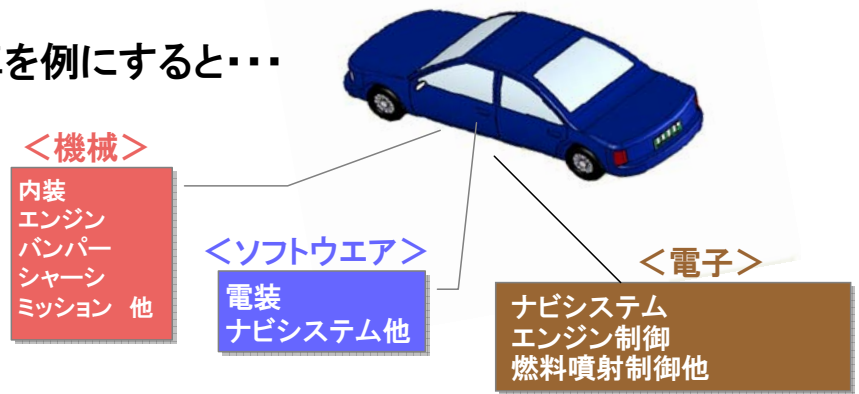


## 参考資料：⑥開発・設計の業務分野

■ 当社は、様々な開発・設計業務の分野において、次の3つの領域で多様な技術力を提供しております。



● 自動車を例にすると...



# 参考資料：⑦採用実績

2009年の4月新卒入社は64人。中途採用は抑制、また2010年4月新卒の採用を見送った。  
2011年3月期は引き続き待機技術者の早期戦力化を優先し、  
中途採用及び2011年4月の新卒採用は未定。

